

# 名証通信

## Communication Letter



### ◇◇ 謹賀新年 ◇◇

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた方々に、謹んでお見舞いを申し上げます。また、最前線で治療に当たられている医療従事者の皆さまをはじめ、ご尽力されているすべての方々に深くお礼を申し上げます。

引き続き新型コロナウイルスの影響が懸念されるなか、名古屋証券取引所といたしましては、感染拡大の防止に十分配慮しながら、市場の安定運営はもとより、各種サービスについても実施することができるよう努めてまいりますので、本年もよろしく願い申し上げます。

### 大発会の式典を開催

名古屋証券取引所では、2021年1月4日に大発会の式典を開催しました。

例年は、証券関係者など140名ほどに参加していただき、華やかに実施しておりますが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、参加者を40名程度に限定するなど、規模を大幅に縮小して執り行いました。

式典では、竹田正樹代表取締役社長の年頭挨拶のあと、森一幸常勤監査役の発声による万歳三唱に続き、石田建昭取締役（東海東京フィナンシャル・ホールディングス㈱代表取締役社長最高経営責任者（CEO））の音頭にあわせて三本締めを行い、2021年における株式市場の活況を祈念しました。

なお、開催にあたっては、参加者の検温、マスクの着用、手指消毒はもちろん、参加者同士の間隔を1メートル以上あけ、演台の前面と側面にアクリル板を設置、会場の扉もすべて開放するなどの対策を講じました。また、参加者の数を制限したことから晴れ着姿の参加者も見られず、例年とは雰囲気異なる式典となりましたが、干支の丑にちなみ、「証券知識普及プロジェクト」のマスコットキャラクターである“とうしくん®”（P4下段参照）が特注のマスクをつけて参加し、会場を和ませました。



（石田取締役による三本締め）



（手締めをする？とうしくん®）

## ◇◇ コロナ禍における名証のイベント ◇◇

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、上場企業のIRイベントをはじめ、当取引所が主催する会場開催型のイベントについては、開催の中止や延期を余儀なくされました。

とくに、当取引所の代表的なIRイベントである「名証IRエキスポ」は、例年120社前後の名証上場企業と証券会社等が参加し、2日間でのべ8,500名ほどの個人投資家等にご来場いただいておりますが、1994年の初開催から27年目にして初めて中止となりました。

また、名証上場企業のIR説明会と株式講演会等のセミナーがセットになった「名証IRセミナー」等の個別イベントについても、2020年は会場型の開催実績がゼロに終わりました。

### オンラインを活用したIRセミナーの開催

IRイベントの中止が続くなか、名証上場企業からは、「会場型のIRセミナーに代わり、オンラインでもいいので個人投資家向けのIRセミナーを実施したい」といった声が寄せられるようになったことから、オンラインでの2種類のIRセミナーを以下のとおり企画し、実施しています。

#### <名証IRセミナーオンラインプレミアム> 視聴定員約200名

専門業者が専用システムで収録・配信を行うとともに、視聴者についても業者が募集するフルサービスの大規模オンラインセミナーで、実施企業は東京の会議室等からでも配信することができます。また、質疑応答を著名な株式評論家がコーディネートするサービスや、見逃した投資家向けのオンデマンド配信サービスも付加することができます。

実施日	実施企業（予定含む）
2020年10月7日	武田薬品工業
12月12日	ユー・エス・エス
2021年3月5日	エスライン、朝日インテック
3月6日	メニコン



（カメラに向かって説明する(株)ユー・エス・エス様）



（株式評論家のコーディネートによる質疑応答）

## <名証 IR セミナーオンライン> 視聴定員約 80 名

フルサービスの“プレミアム”とは異なり、ZOOM を利用した比較的小規模のオンラインセミナーです。（“プレミアム”のようなオンデマンドサービス等の設定はありません。）

実施日	実施企業（予定含む）
2020 年 9 月 3 日	ユー・エス・エス
9 月 28 日	日本空調サービス
12 月 17 日	ミダック
2021 年 1 月 18 日	岡谷鋼機、東名
2 月 25 日	東邦ガス、ジャパンベストレスキューシステム
3 月 2 日	兼房、日邦産業
3 月 13 日	愛知時計電機、ニッソウ
3 月 24 日	プロトコーポレーション、浜木綿

## 名証 IR エキスポ（第 27 回）の開催について

昨年中止となった「名証 IR エキスポ」は、2021 年 9 月の開催に向けて準備を進めています。

イベント名称	名証 IR エキスポ 2021
主催	名古屋証券取引所
会期	2021 年 9 月 10 日（金）・11 日（土） 10:00～17:00（予定）
会場	名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール） 名古屋市千種区吹上二丁目 6 番 3 号
対象	個人投資家（入場無料）
主なプログラム	各上場企業によるブース展示とブースでの自由面談 ミニ説明会、ブースツアー（各企業ブースにて） プレミアム説明会（特設ブースに 70 名程の個人投資家を集めての説明会） 著名講師による講演会 名証取引参加者（証券会社）による情報提供ブース その他マネーセミナー、個別相談コーナー等

（注）新型コロナウイルス感染症の状況等により、内容が変更となる場合があります。



## 企業の成長に寄与する新興市場「セントレックス」



M & A の仲介・コンサルティングを行う名南 M & A は、2020 年 12 月 17 日、名古屋証券取引所の新興市場である「セントレックス」から、市場第二部に上場市場を変更しました。

同社は 2019 年 12 月 2 日にセントレックスに新規上場後、コロナ禍においても堅調な業績を維持し、これまでの最速となる 1 年 15 日での市場第二部への上場となりました。

セントレックスにおけるステップアップ企業はこれで 13 社目となり、これまでにセントレックスに新規上場した企業のうち、約 3 割の企業が本則市場へのステップアップを果たしています。

## ◇◇ 丑年の株式市場 ◇◇

証券界には干支にちなんだ相場格言がありますが、丑年の格言は「丑つまずく」と言われており、あまり紹介したくはありません。ただし、過去の丑年を振り返りますと、日経平均株価が算出開始された1950年以降、5回あった丑年の日経平均株価の年間騰落は、プラスが3回、マイナスは2回ということで、5回のうち、つまずいたのは2回だけです。さらに、相場用語では「雄牛・ブル」は株価の上昇を意味しており、前回の丑年である2009年は前年のリーマンショックから回復した年でもあります。

今年もそれと同じように、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況から脱し、たとえ牛歩であっても、モ～一步、モ～一步と粘り強く突き進むことで、日本経済全体が新たな発展へと繋がる1年になるよう願うばかりです。

### ＜過去5回の丑年に起きた主な出来事＞

1961年	名証「市場第二部」を創設 ジョン・F・ケネディ氏が米大統領就任
1973年	名証の売買取引について毎月第3土曜日を臨時休業日に変更 第一次オイルショック 為替レートが固定相場制から変動相場制へ変更
1985年	名証売買立会場の株価表示を手書きからテレビ表示方式へ変更 日本電信電話公社と日本専売公社が民営化 G5がプラザ合意
1997年	名証立会外売買取引制度を創設 山一証券が破綻 アジア通貨危機
2009年	株券の電子化 民主党政権が誕生 バラク・オバマ氏が米大統領就任

#### 💡 “とうしくん®”と証券知識普及プロジェクト

とうしくん®は「証券投資の日」(10月4日)のมาสコットキャラクターとして誕生した「証券知識普及プロジェクト」のมาสコットキャラクターです。

「証券知識普及プロジェクト」は、名古屋証券取引所のほか、日本証券業協会、日本取引所グループ、東京証券取引所、大阪取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、投資信託協会の証券団体等が参加し、公正・中立な立場から長期的・継続的に証券知識の普及・啓発を図ることを目的に、学校における金融経済教育に役立つ各種学習教材の提供、一般消費者向けのセミナーや講演会の開催等、多岐にわたり活動している共同事業です。



発行元 株式会社名古屋証券取引所 総務グループ (お問合せ先 TEL 052-262-3171)